

# 品川支部

令和三年2月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel&Fax 3442-7075

## 2月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 天理大ラグビー部コロナから一転 初の新国立で大学『日本一』

正月早々、大学ラグビー日本一の嬉しいニュース 品川支部でも数人  
応援に行ってきました。

経過は皆さんのご承知通りで、応援席も開始十分ごろからは安心して観  
戦することが出来るような展開で、三十六年ぶりに優勝旗を関西にもた  
らすことが出来ました。 とにかくオリンピックが延期になって新しい  
国立競技場が昨年十二月二十一日のオープニングイベントでやっと幕  
開けとなり、 一月一日の全日本サッカー選手権決勝、四日のJリーグ  
YBC決勝に続き新設から三つ目のイベントの大学ラグビー選手権で新  
国立初の優勝校となったわけです。

「こいつは春から、縁起がいいわい・・・」と言ったところでは

外壁と天井に木製の梁



両サイドに大画面

\*新国立競技場は六万人収容の  
会場で、客席はスロープが緩やか  
で足元が他より広くとても見やす  
く感じました

観客席はコロナ  
の影響で四分  
の程度の観客  
でしたが、椅子  
の模様でまるで満  
席みたいに見え  
ました



中から見るとこんな感じの天井



## ☆支部行事のお知らせ

・支部例会二月二十八日(二頁参照)

\*コロナ禍の状況により変わります

開催の有無は

二十一日以降に電話等でお確かめください

・神名流し

共に中止です

・在宅センターひのきしん

・幹事会 二月九日(六時から)

桜京分教会にて

・教区ひのきしん

二月担当は本柱組の予定でしたが

コロナ対策により中止になりました

## ☆教務支庁からのお知らせ

・四月四日の周年記念祭について

この状況下で開催の有無が不明ですが

準備は進め、最終判断は三月十九日の全体

会議でお知らせ致します

尚、開催の場合は表統領の臨席を予定して

います。当日参加は各教会長又は配偶者の

一名とすると言っています

・四月二十九日の全国一斉ひのきしんについて

今年是全国的又東京教区管内一斉とは

致しません。各支部の都合で行う事になり

ました 品川支部は準備は致しますが

三月末には開催の有無をお知らせ致します

・青年会から

月刊誌『大望』が令和三年三月号  
をもって終刊となります。

永く愛読頂きまして有難う御座い  
ました。

・学生担当委員会から

昨年発表いたしました「道の学生

おちばがえり団参」の要項が変更  
になりました。

「：団参」の名称を「：推進期間」と

いたしました。日程も三月一日から

を二月一日からとし、帰参者の集中

を緩和する事になりました。

帰参も団体を避けて個人や少数人

数での参加にしたいとの事です

詳細は各教会にお問い合わせくださ  
い

・少年会から

少年会からカードゲームの紹介で

す。

「ピッキー8カード」(ピッキームゲン

カード)が頒布されました。価格は

五百円、詳しい遊び方はホームページ

に紹介されています

・品川支部報へ投稿お寄せください

お近くで何か皆さんに聞いて頂いて

も良さそうなこと等、出来事があれば

編集部までお便りを寄せて下さい

掲載させて頂いた場合は粗礼させて頂  
きます

## 時報手配り二月予定

・当面の間、時報は月三回で

四頁での発行になります

・手配りの実施は各地方の実情

を見て再開を決定します

拠点教会	7日号	14日号	28日号 (21日合併号)
日本橋	郵送	郵送	郵送
本 荏	郵送	郵送	郵送
南 泰	郵送	郵送	郵送
三ツ木	郵送	郵送	郵送
水豊田	郵送	郵送	郵送

# 品川支部例会

## 令和三年二月28日 (日) 11時開始

### 場所 南泰分教会

(品川区東品川一丁目二九の六)

\*コロナ禍にて、開催の有無は20日に決定いたします  
電話で又は担当にお尋ねください

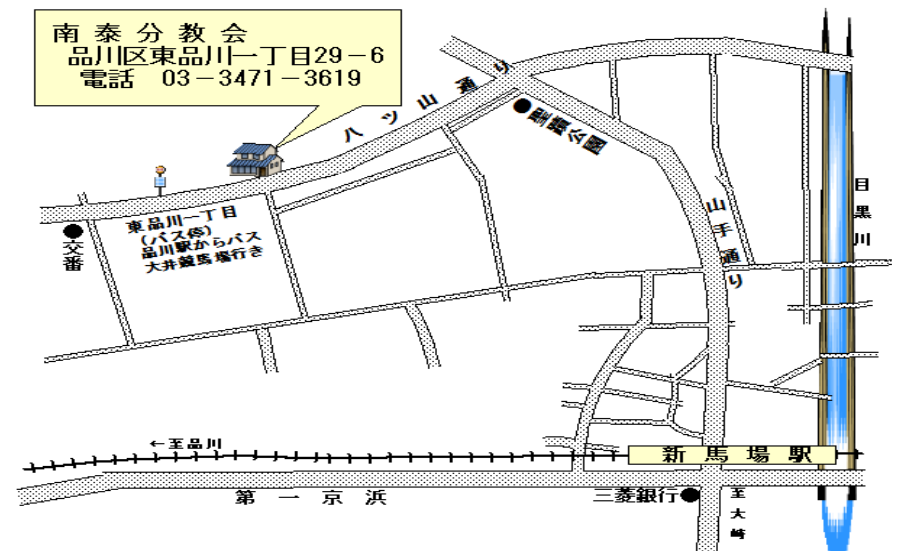
### 内容 おつとめよろづよ八首 二下り目

### 東京教区、支部連絡事項

### 当該教会長宮坂先生 挨拶

### 昼食の用意頂いてます

\*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



#### 私の信仰の元一日



『信仰の元一日を振り返ろう』と言われた時、信仰初代の方は自分の入信がすなわち元一日となりますが、私たち二代三代と信仰を引き継いだ者にとっては、家としての信仰の元一日と別に、個人としての信仰の元一日があると思います。私は信仰とは神様を信じることで、つまり神様の存在を実感することが、まず出発点だと思っています。教会で生まれ育った私は、子供の頃から少年会の活動に参加し、理高校にも通わせて頂き、神様のお話は事あるごとに聞かされ、お道の教えは頭の中では十分理解していましたが、自分自身思い通りに事と信じるという事は全く違うと思うのです。

大学卒業間近の私に、父である前会長は卒業後の進路として「布教の家」に入寮するよう勧めました。それまでも私自身、青年会行事などでのいざしめに出ることはありましたが、はつきり言っていた布教活動は大嫌いでしたので、どうにか逃れられないかと頭を捻り断る理由を考えました。「おみちの教えは素晴らしいと思うし、自分自身が一生涯信仰をするのはいいと思ってるけど、人に勧めるほどの自信はない。セールスマンだっけがなかったら売込みが得意じゃないじゃないか」自分なりによくできた言い訳だと思っただけで、前会長に言ったのですが「じゃあ、いつになつたらその自信が見つかるか。その自信を見つけたら、に布教の家に行くのだ」ご存じの方はご存じだと思いますが、理屈で前会長にかなう訳なく、私自身も妙に納得して大学を卒業した私は

立教百五十年の春に布教の家広島寮に入寮させて頂きました。余談になりますが、今信仰しているのですが、信の方でも布教活動が大好きだという方は相当少ないと思います。それどころか友達や近所の人にも天理教の信者と知られることをおそれ『かくれキリシタン』ならぬ『かくれ天理教』としてばれないうように信仰している人も少なからずあります。先程の布教の家に行きたくない私が考えた言い訳「自信がない」これに行き着くのではないかと思います。卑近な例ですが、自分がおいしいと思う店を見つけたら、店主に宣伝してくれませんかと思いたくなるのが人の常だと思えます。「今度できたあの店おいしいよ。一度いってみたい」この間観てきたこの映画、良かったからぜひ観に行きな」

自分が自信があるなら言いたくなるでしょう。初代さんは神様の存在を感じて信仰に入りました。この神様は素晴らしい、この教えは素晴らしい、この教えは素晴らしい、布教活動をしていくのですから嫌ではなかった、むしろ勇んでいざしめをされていたのだと思います。神様の存在を実感した初代さんと神様をさがしながら通る私たち。そこには大きなハンデがあります。広島での一年間、そこで経験したこと、出会った方々を通して、頭で理解していた神様を実感させて頂き、ハンデを克服する私の信仰の元一日となりました。そのお話は次回の執筆担当の時に書かせて頂きたいと思えます。

南泰分教会  
会長 宮坂義則